

おやま百景の魅力・再発見プロジェクト

5月から始まり、6月、7月と準備会合を行いました。

毎月第1火曜の午後が定例会です。8月7日(火)、9月4日(火)、10月2日(火)の開催となりました。7月1日の「⑧思川の流し雛」と、8月4日に「⑨思川の鮎釣り」につながる「思川アユ祭り」に見学に行きました。

8月の特別例会は25日10時に集合して、「⑪愛宕神社の大ケヤキ」にて涼を摂ります。

例会では、今後の活動の計画イメージの共有、それから役割分担について話し合います。楽しい活動を手づくりする取り組みにぜひお越しください。

おやま百景は、1994年に小山市で制定し、その10年後の2004年にも改めて制定し直された、小山の良い風景100選の取り組みです。小山の長い歴史と現代の感性とが産み出した生活文化的な記録としての価値があります。

本市では、「おやま百景詠おう会」が100景すべてを漢詩で表現し、それを詩吟として読み上げる活動を続けていますほか、ビデオや写真で記録を作るグループなどがあつたと聞きます。

本プロジェクトでは、これからのさらなる活用と展開とを夢見て、新しい活動を、立場を超えて話し合っています。



おやま百景の一つ、須賀神社。



その須賀神社で行われる茅の輪潜りの準備の様子も、取材に。



おーバスの路線図をもとに百景をマッピング



祭りや神事などを歳時記としてまとめ直し中

小山市市民活動センター

おやま～るの
「ネットワークづくり」
プログラム

登録団体や市民の方々が、様々な形で、社会に必要とされる事業を担われています。そうした担い手団体が繋がることで大きな力を発揮することを期待し、活動のネットワーク化を図っています。これまで相談等を受けた対象領域としては「市民による地域の防災」「市民農園と家庭菜園の担い手と貸し手」「ママ支援／ママさん起業家の人たち」「貧困世帯の子どもやママの支援」「元気シニア交流の主催者と利用者」などがあり、団体の皆さんとセンターとでプログラムを作り上げていきます。